



Newsletter



BLMC 会員の皆様

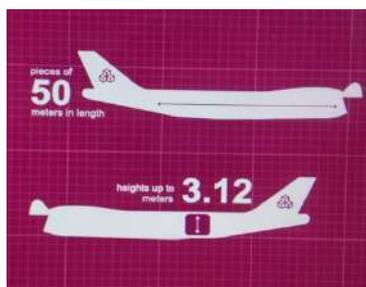
猛暑が過ぎ、だいぶ朝夕涼しくなりました。気がつけば、今年もあと3ヶ月を切りました。年々時の速さが加速しているような気がいたします。

さて、今回のニュースレターは、当会の会員でもあるカーゴルックス航空会社の日本地区総支配人である大録岳人さんにインタビューをしてみました。カーゴルックス航空会社と航空貨物業界の現状についていくつかの質問にお答えしていただきました。

<今回のテーマ>

カーゴルックス航空会社と2024年の航空貨物物流業界

-お忙しい中、今日はお時間をありがとうございます。早速ですが、どのような貨物を航空輸送していますか？



カーゴルックスは、「You name it, We fly it!」をモットーに、幅広い貨物を取り扱っています。一般商品から貴重品やデリケートな品目、生きた動物、医薬品、特大貨物まで多岐にわたります。カーゴルックスは、あらゆるお客様のご要望にお応えできるよう、8つの特殊製品カタログをご用意しています。通常の旅客機の場合、高さは1メートル60センチですが、当社の貨物積載エリアの高さは3メートルで、より大型の貨物を搭載することが可能です。



また、旅客機は通常、機体側面から貨物を積載するため、搭載できる貨物の長さにも制限がありますが、カーゴックスは B747 の貨物専用機ですので、機首（操縦席付近）からまっすぐ貨物を積載できるため、最大 50 メートルの長さの品物を航空輸送できます。

-すごいですね！想像が膨らみます。この分厚いマニュアル・IATA 危険品マニュアルは毎年更新されるのですか？



はい、毎年更新されています。近年、リチウムの取り扱いに関する規制が増えています。携帯電話などに使われているような軽いもリチウムは輸送できますが、車椅子用、人工衛星用、電気自動車用などの大型のものは、燃焼した場合のリスクが高いものがあり、旅客機では輸送できないことがあります。

-なるほど。確かに空で爆発したら逃げようがないですね。取り扱う品目も多様化していると思いますが、航空機自体に何か革新はありましたか？



カーゴックスは貨物専用で作られた 747 型貨物機を 30 機使用しています。当社は 747-400F を運航した最初の航空会社であり、2011 年に納入された 747-8F のローンチ カスタマーでもありました。現在、新世代の双発 777-8F を 10 機発注しており、さらに 6 機のオプションがあります。導入されると、この機種は当社の老朽化した 747-400 貨物機のフリートに取って代わります。

注：	747	愛称は、「ジャンボ」。エアバスが登場するまでは世界最大の商用機。
	ローンチ カスタマー	新しい航空機の最初の顧客/発注者
	双発	2つのエンジン
	777	愛称は、「トリプルセブン」。業界最大、最長航続距離、最高の性能。
	フリート	航空機のコレクション

-「トリプルセブン」楽しみですね。ところで、日本への直行便はありますか？

カーゴックスは日本国内の成田と小松の2つの目的地にフライトを運航しサービスを提供しています。

-そこから目的地までは、トラックなどですか？

成田と小松から OSA、NGO、FUK へのロードフィーダーサービスが利用可能です。

注： OSA 大阪 NGO 名古屋 FUK 福岡
 ロードフィーダーサービス (RFS) トラックによる定期輸送サービス

“人間の体で例えるなら、物流業界はまさに「血管」です。”

-ところで、「2024年問題」への対応はどのように人材を確保していますか？

これは、トラックドライバーの労働時間を制限する問題です。カーゴルクスはRFSサービスプロバイダーやお客様と緊密に連携し、業務への影響を最小限に抑えています。

-空港に保管されている貨物の倉庫は自社倉庫ですか？それとも委託倉庫ですか？また、自動化は進んでいますか？



航空貨物業界では、「倉庫」とは言わず、「上屋（うわや）」と呼んでいます。つまり、空港でお荷物、貨物をお預かりしてから、飛行機へ搭載可能なユニットに組んで出発するまでの、一時保管なのでそう呼んでいます。地上ハンドリングサービスについては、カーゴルクスはNRTではNCA、KMQではJALを利用しています。拠点を置くルクセンブルクでは、地上業務は100%子会社のLuxcargo-Handlingが担当しています。また、冒頭でも触れたように、取り扱う品目が多岐にわたるため自動化が難しく、まだまだ人手不足が続いています。

注：ハンドリングサービス 航空機が定刻通りに離着陸できるよう、空港内で各種サポートサービスを実施
NRT 成田 NCA 日本貨物航空（日本で唯一の貨物専門航空会社） KMQ 小松

-なるほど。最後に、航空貨物業界として、SDGsへの取り組みについてどのような対策を講じていますか？

カーゴルクスは、ルクセンブルクを拠点とする企業として初めて国連グローバル・コンパクトに署名し、2007年に持続可能性への取り組みを公式に発表しました。10年後、同航空会社の取り組みは、国連アジェンダ2030とその持続可能な開発目標(SDG)を含むように拡大しました。当初は主に環境問題に焦点を当てていましたが、長年にわたり、カーゴルクスは活動範囲を広げ、社会的側面やガバナンスの側面も含めるようにしてきました。

-どのような例がありますか？

例えば、同航空会社は専門知識を活用して、小規模なプロジェクトから、地震などの被災地に切望される物資を届けるなどの大規模なプロジェクトまで、世界中で慈善団体のプロジェクトを支援しています。カーゴルクスは、飼育されている野生動物を保護区に輸送することを目的としたプロジェクトを支援することにも取り組んでいます。



2023年、同航空会社は、これらの製品が公衆衛生と環境の両方に悪影響を及ぼすという懸念の高まりに対応した措置として、機内での使い捨て電子タバコの使用を禁止しました。

2023年末、カーゴルクスは、迅速な対応を必要とする世界的問題となっている山火事に対応するため、アクエリアス航空消防を設立しました。

カーゴルクス持続可能な航空燃料(SAF)プログラムも2021年に開始されました。SAFはさまざまな資源から作られた再生可能燃料であり、化石燃料と比較してライフサイクル全体でCO2排出量を大幅に削減できます

-さまざまな原料からの再生可能な燃料とは、具体的にどのようなものがありますか？

持続可能な航空燃料は、使用済みの食用油や動物性脂肪、わらやトウモロコシの葉や茎などの農業残渣、森林残渣や木材ベースの材料などの木質バイオマスなど、さまざまな原料から作られています。

-なるほど、とても分かりやすいです。

詳細については、カーゴルクスの Web サイトの SDG 持続可能性レポートをご覧ください。

-今日はお忙しい中、貴重なお話をお聞かせ頂きありがとうございました。世界地図を背景に、物流業界の重要性を理解することができました。これからも益々のご発展をお祈り申し上げます。

<各関係機関と組織から>~8月から11月までのイベントやニュース~

*ベルギー大使館

- 9/10 “Attract Women from Management to Boardroom” (女性の活躍をテーマにパネルディスカッション・レセプションを開催)
- 9/20 “Equal marriage- political, legal and business perspective” (同性婚をテーマにパネルディスカッション・レセプションを開催)

*ルクセンブルク東京貿易投資事務所

- 8月 ミシェル・レーシュ 次期大使、アン・ムース公使参事官 着任
- 9/26 ワインテイスティングイベント(ルクセンブルク貿易投資事務所協力) 「魅惑のルクセンブルク ~文化とワインを楽しむひととき~」 https://company.cavederelax.com/event/20240926_toranomon/

*ベルギー・フランダース政府貿易投資局

- 9/6 FIT organized a webinar on the Japanese agritech and foodtech market (日本のアグリテックとフードテック市場についてのウェビナー開催)
- 9/23 の週 FIT organized a mission to Flanders for foreign buyers in the offshore wind market, to which Japanese companies participated (FIT は、洋上風力市場の外国人バイヤーのためにフランダースへの使節団を構成。日本企業も参加)
- 10/7 の週 The Tokyo offices of AWEX and FIT have a joint Belgian pavilion at BioJapan. On that occasion, FIT is organizing a mission of Flemish biotech companies to Japan. URL: <https://jcd-expo.jp><https://jcd-expo.jp/> (AWEX の東京事務所と共同でバイオジャパンにパビリオンを提供。その際、FIT はフランダースのバイオテクノロジー企業による日本への使節団を企画。詳しい内容は以下の URL から)
- 9/1 A new chocolate shop “chocolat trouver” has opened in Kita-Aoyama featuring chocolate from 3 Belgian brands: Centho, Baru, Dolfijn. URL: <https://www.chocolattrouver.com><https://www.chocolattrouver.com/> (北青山にベルギー3ブランドのチョコレートを扱う「chocolat trouver」がオープン：セントー、バル、ドルフィン)

*ブリュッセル首都圏政府貿易投資局

9/29-10/5 Visitbrussels, tourisme office of Brussels-Capital Region, visited Tokyo & Osaka for a prospection for the organization of Brussels events during Expo 2025

(ブリュッセル首都圏政府観光局「Visitbrussels」が、2025年の大阪万博期間中に開催を予定しているブリュッセル独自のイベントに向け、下見のため来日)

*ベルギー王国ワロン地域政府貿易・外国投資振興庁

8/24 「フランス語朗読コンクール&クイズ大会」@明治学院大学白金キャンパス

(エデュアルド・ヴァンクルーネン公使参事官及びクレール・ギスレン代表が表彰式で受賞者にベルギー大使館賞を授与)

8/28 パリパラリンピック競技大会開会式

(旗手の一人ジェラルド選手(車いすテニス競技)を含め選手5人は、2019年に当局が作成した写真集「違いを超えて GRANDIR」に登場)

9/3 芝浦工業大学の教授らレオナール・ド・ヴァンシ高等専門学校を訪問

9/5 同教授ら情報通信技術センター(CETIC)を訪問

(訪問先で、今後の学術協力、関西万博での展示会、研究者の移動支援などの確認)

10/9-11 Bio Japan 2024 @ パシフィコ横浜

(C-24のブースにて、ワロン地域からは9社が商談などに参加)

*BLCCJ (ベルギー・ルクセンブルグ商工会議所)

8/7 Meet the BLCCJ Members (BLCCJ会員が挨拶)

9/12 After-summer beer gathering @ BBW Roppongi (ビアーギャザリング BLMC と JBS と共同で開催)

9/17 Young Professionals Speed Networking (若手プロフェッショナルのスピードネットワーキング)

9/24 Webinar “The Practical Use of AI in Marketing”

(ウェビナー: 市場におけるAIの実践的活用)

10/1 Jury Session for the Nippon Export Award (日本輸出大賞の審査会)

10/17 Joint Chamber EU Cocktail (EUの各商工会議所による合同カクテルパーティー)

11/22 BLCCJ Gala 2024 (2024年BLCCJのガラパーティー)



以上

BLMC オフィス・マネージャー 井宮 さおり